

松川町デマンドタクシー実証運行 実績報告

令和 2 年 6 月 2 日

デマンドタクシーの利用実績と利用者等に対する調査結果をまとめます。

1. 利用者数

令和 2 年 1 月 6 日（月）から 4 月 30 日（木）までの利用実績をまとめます。

比較できるものは、過年度同期間のフルーツバス（生田循環 峠部奈線、中山柄山線）の実績と比較しています。なお、3 月下旬以降は新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、外出自粛が要請されたことを考慮する必要があります。

(1) 登録者数

令和 2 年 4 月末日時点の登録者数は、228 人です。

(2) 総利用者数、便別利用者数

1 月から 4 月までのデマンドタクシーの総利用者数は 359 人でした。平成 30 年度と比較すると 556 人減少しています。運行当初と比べると、デマンドタクシー第 1 便の利用者数は増加していますが、第 2 便は減少しています。

なお、方面別では町中心部→居住地の利用が 353 人、居住地→町中心部の利用は 6 人で、居住地→町中心部はほぼありませんでした。

図表 1 便別定時定路線（フルーツバス）利用者数と便別デマンドタクシー利用者数の比較

（単位：人）

フルーツバス(平成30年)						デマンドタクシー(令和2年)					
	1月	2月	3月	4月	合計		1月	2月	3月	4月	合計
午前3便	91	88	101	128	408	デマンド1便	53	71	74	69	267
午後1便	31	31	38	65	165	デマンド2便	30	26	15	21	92
午後2便	73	97	105	67	342	合計	83	97	89	90	359
合計	195	216	244	260	915						



※デマンドタクシー第 2 便はフルーツバス午後 1、2 便の合計と比較しています。


(3) 1日あたりの利用者数

デマンドタクシーの1日あたりの利用者数は3.8人/日でした。平成30年度と比較すると5.8人/日減少しています。

図表2 定時定路線（フルーツバス）1日あたり利用者数（平成30年度）とデマンドタクシー1日あたり利用者数（令和元年度）の比較

(単位：人/日)

	1月	2月	3月	4月	合計
午前3便	3.8	3.8	4.0	5.3	4.3
午後1便	1.3	1.3	1.5	2.7	1.7
午後2便	3.0	4.2	4.2	2.8	3.6
合計	8.1	9.4	9.8	10.8	9.5



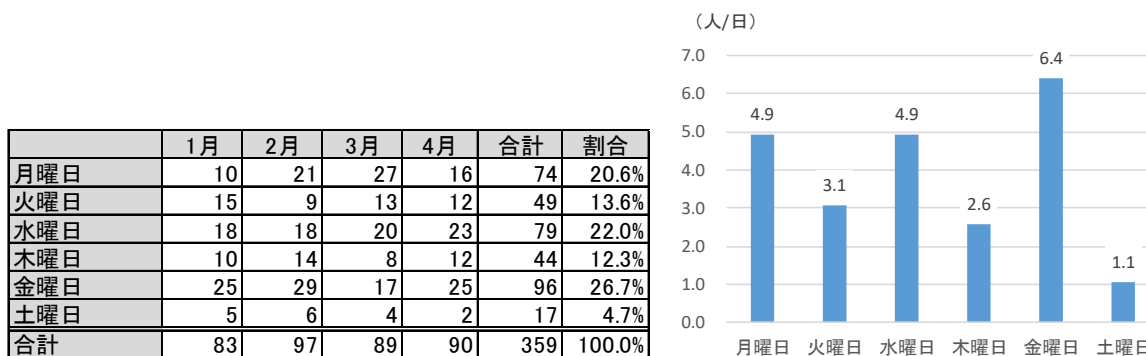
	1月	2月	3月	4月	合計
デマンド1便	2.4	3.1	3.0	2.8	2.8
デマンド2便	1.4	1.1	0.6	0.8	1.0
合計	3.8	4.2	3.6	3.6	3.8

※デマンドタクシー第2便はフルーツバス午後1、2便の合計と比較しています。

(4) 曜日別利用者数

曜日別にみると金曜日に利用者がもっとも多くなっています。土曜日はもっとも少なくなっています。1便あたりの利用者数をみると、金曜日は6.4人/便、土曜日は1.1人/便となっています。

図表3 曜日別利用者数と曜日別1便あたりの利用者数（第1便、第2便の合計）

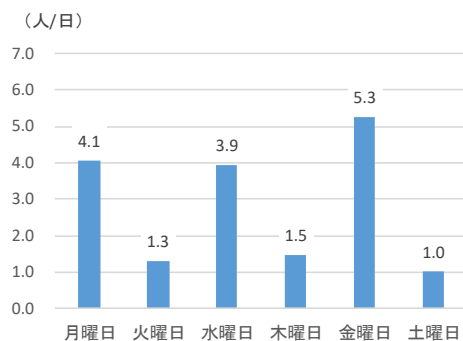


便別では、第1便は、全体とほぼ同様の傾向で、金曜日の利用者がもっとも多く、土曜日がもっとも少ないです。どの曜日でも1便あたり1.0人/便を超えています。

第2便は、火曜日の利用者がもっとも多く、土曜日がもっとも少なくなっています。月、金、土曜日は1便あたり1.0人/便を下回っており、利用が「0」の日もあることがうかがえます。

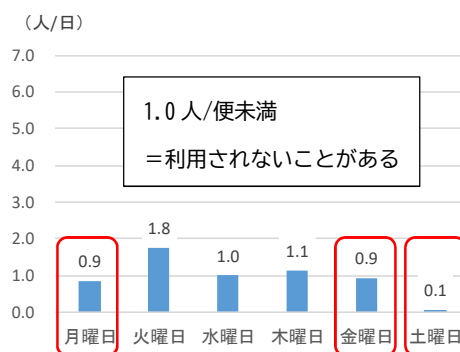
図表 4 第1便の曜日別利用者数と曜日別1便あたりの利用者数

	1月	2月	3月	4月	合計	割合
月曜日	7	18	24	12	61	17.0%
火曜日	4	2	8	7	21	5.8%
水曜日	12	14	18	19	63	17.5%
木曜日	4	8	4	9	25	7.0%
金曜日	21	21	16	21	79	22.0%
土曜日	5	6	4	1	16	4.5%
合計	53	69	74	69	265	73.8%



図表 5 デマンドタクシー第2便の曜日別利用者数と曜日別1便あたりの利用者数

	1月	2月	3月	4月	合計	割合
月曜日	3	3	3	4	13	3.6%
火曜日	11	7	5	5	28	7.8%
水曜日	6	4	2	4	16	4.5%
木曜日	6	6	4	3	19	5.3%
金曜日	4	5	1	4	14	3.9%
土曜日	0	0	0	1	1	0.3%
合計	30	25	15	21	91	25.3%



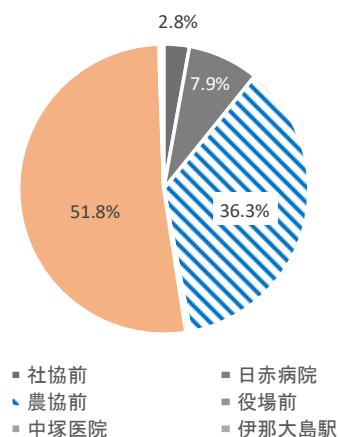
(5) 乗車場所別利用者数

乗車場所にみるとキラヤ前がもっとも多く、次いで農協前が続きます。

当初、想定していた通院帰りの利用（日赤病院、中塚医院からの利用）が10%未満となっています。

図表 6 乗車場所別利用者数（町中心部→居住地）

	1月	2月	3月	4月	合計	割合
社協前	3	6	1	0	10	2.8%
日赤病院	8	6	10	4	28	7.9%
農協前	28	34	28	38	128	36.3%
役場前	0	0	0	0	0	0.0%
中塚医院	0	0	0	1	1	0.3%
伊那大島駅	0	0	0	1	1	0.3%
キラヤ前	42	50	47	44	183	51.8%
七椏停留所	0	0	0	1	1	0.3%
馬坂停留所	0	0	0	0	0	0.0%
宮ヶ瀬停留所	0	0	1	0	1	0.3%
合計	81	96	87	89	353	100.0%



(6) 利用者の実態

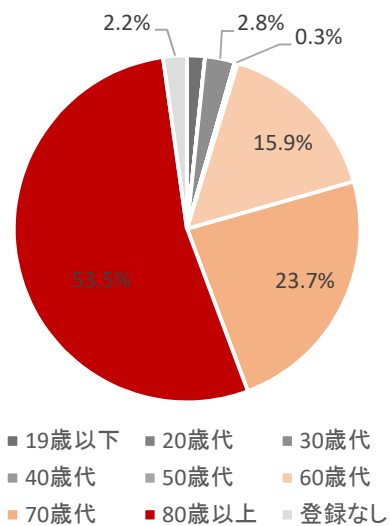
以下に、利用者の実態をまとめます。

① 年代別

利用者の年代は 60 歳以上が 90%以上を占めています。

図表 7 利用者の年代

	1月	2月	3月	4月	合計	割合
19歳以下	0	0	0	6	6	1.7%
20歳代	0	0	0	0	0	0.0%
30歳代	3	6	1	0	10	2.8%
40歳代	0	0	0	0	0	0.0%
50歳代	1	0	0	0	1	0.3%
60歳代	16	17	8	16	57	15.9%
70歳代	18	25	23	19	85	23.7%
80歳以上	43	47	54	48	192	53.5%
登録なし	2	2	3	1	8	2.2%
合計	83	97	89	90	359	100.0%



※登録なし…生田地区に住所がないが、生田地区の実家などへ行くために利用される場合

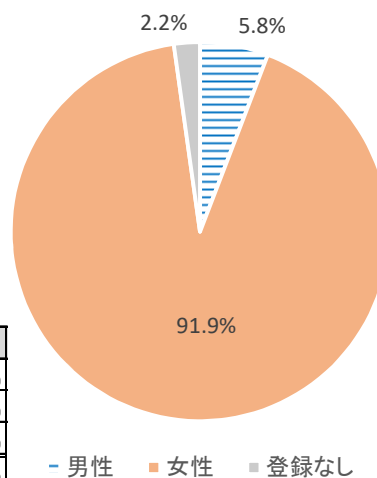
② 性別

利用者の性別をみると、ほぼ女性の利用で占められています。

女性は買い物などで出かけられる頻度が高いことや、免許を持っていない方が多くいるということが原因として考えられます。

図表 8 利用者の性別

	1月	2月	3月	4月	合計	割合
男性	2	4	4	11	21	5.8%
女性	79	91	82	78	330	91.9%
登録なし	2	2	3	1	8	2.2%
合計	83	97	89	90	359	100.0%



① 居住地区

居住地区でみると、部奈、峠、中山、柄山の利用者が多くなっています。

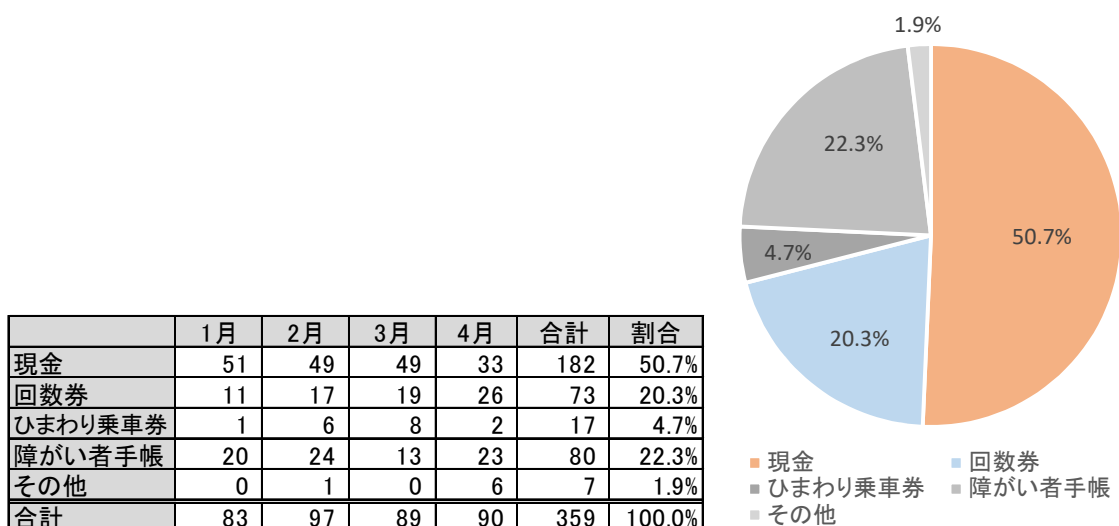
図表 9 デマンドタクシーの利用者の居住地区



② 支払方法

支払方法としては、現金がもっとも多くなっています。次いで、障がい者手帳、回数券と続きます。

図表 10 支払方法



2. 利用者に対する意向調査

デマンドタクシー利用者に対して行った意向調査の結果をまとめます。

(1) 調査実施概要

調査の実施概要は下記の通りです。

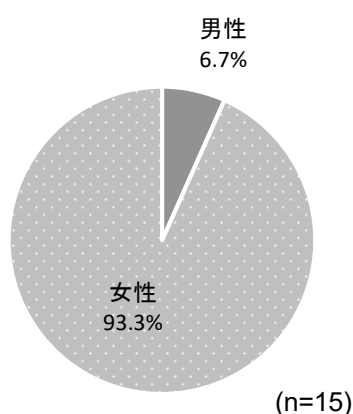
- ・調査対象者：デマンドタクシー利用者
- ・調査方法：利用実績から利用者が多い停留所（キラヤ前、日赤病院、農協前）において、デマンドタクシーを待っている利用者に対して、調査員が対面でアンケートを行った
- ・調査日：令和2年3月2、4、6、9、11、16、23、25日
- ・回答者数：15人

(2) 調査結果

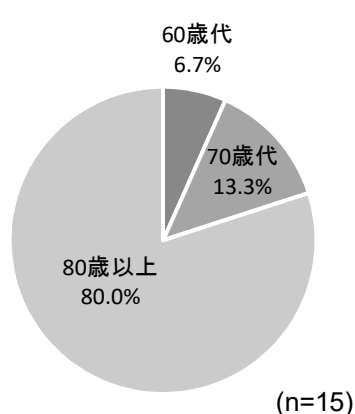
① 回答者の属性

回答者の属性は下図の通りです。

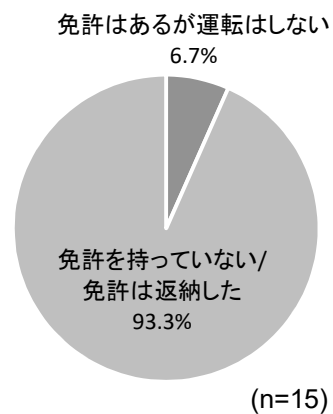
図表 11 性別



図表 12 年代



図表 13 運転免許・運転機会の有無



70歳代以上の回答者は免許を保有しておらず、公共交通が重要な移動手段となっていることがうかがえます。

図表 14 年代別運転免許・運転機会の有無

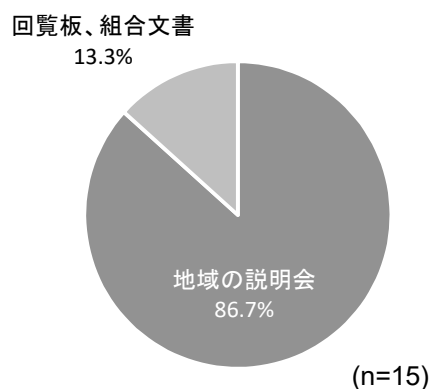
(単位:人)

	普段、自分でも運転をする	免許はあるが運転はしない	免許を持っていない/免許は返納した
60歳代	0	1	0
70歳代	0	0	2
80歳以上	0	0	12
合計	0	1	14

② デマンドタクシーを知った機会

デマンドタクシーを知ったのは「地域の説明会」が86.7%でもっとも多く、「回覧板、組合文書」が続きます。

図表 15 デマンドタクシーを知った機会

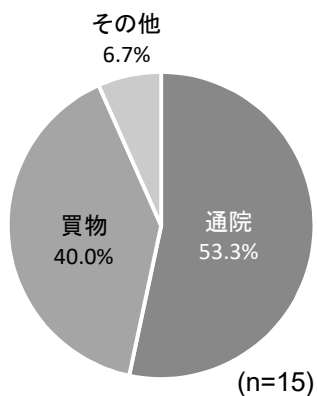


③ 利用実態

(ア) 移動目的、目的地

移動目的では「通院」が53.3%でもっとも多く、次いで、「買物」が続きます。目的地では「キラヤ」がもっとも多く、次いで「農協」が続きます。

図表 16 移動目的



図表 17 移動目的地（複数回答）

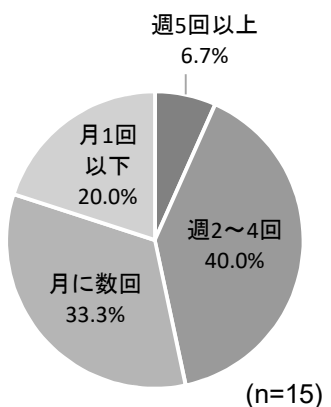
	度数(人)	その他内容	度数(人)
キラヤ	10	役場	2
農協	4	ひだまり	1
日赤病院	2	高森眼科	1
中塚医院	0	美容院	1
その他	6	北林接骨	1

(イ) 利用頻度

移動頻度は「週 2~4 回」が 40.0%でもっとも多く、次いで「月に数回」が続きます。

移動目的別でみると「通院」は「月に数回」がもっとも多くなっています。「買物」では「週 2~4 回」がもっとも多くなっています。

図表 18 利用頻度



図表 19 移動目的別移動頻度

(単位: 人)

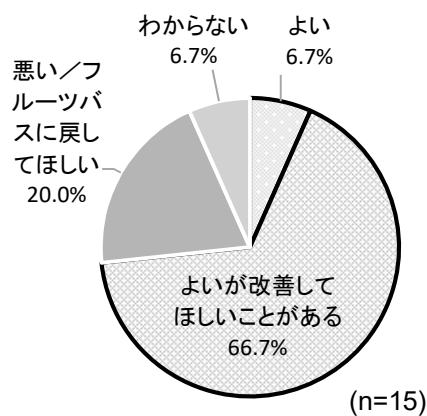
	週5回以上	週2~4回	月に数回	月1回以下
通院	0	1	4	3
買物	0	5	1	0
その他	1	0	0	0
合計	1	6	5	3

④ デマンドタクシーに対する評価・改善点

デマンドタクシーに対する評価としては肯定的な評価（「よい」「よいが改善してほしいことがある」の合計）が 73.4%となっています。しかし、その内訳をみると「よいが改善してほしいことがある」が 66.7%で、全面的に肯定されているわけではないことがうかがえます。

また、「悪い/フルーツバスに戻してほしい」も 20.0%となっています。

図表 20 デマンドタクシーに対する評価



改善してほしいこととしては「予約電話をするのがわずらわしい」がもっとも多くあげられています。

図表 21 改善してほしいこと（複数回答）

	度数(人)
予約電話をするのがわずらわしい	10
運行ダイヤが自分の行動に合わない	4
発着時刻が不正確	0
フルーツバスや JR との接続が悪い	0
運賃が高い	0
デマンドタクシー待ちの環境(バス停、待合所)が整備されていない	0
バスに関する情報不足	0
その他	2

3. 集会等での意識調査

自治会集会およびサロン参加者に対して行った意識調査の結果をまとめます。

(1) 調査実施概要

調査の実施概要は下記の通りです。

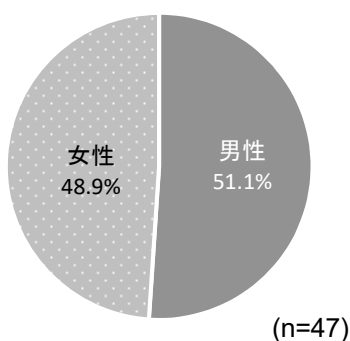
- ・調査対象者：自治会集会およびサロン参加者（公共交通非利用者を含む）
- ・調査方法：参加者全員にアンケート用紙を配布し、その場で回答、回収を行った
- ・調査日：令和2年2月28日、3月5日、15日
- ・回答者数：49人

(2) 調査結果

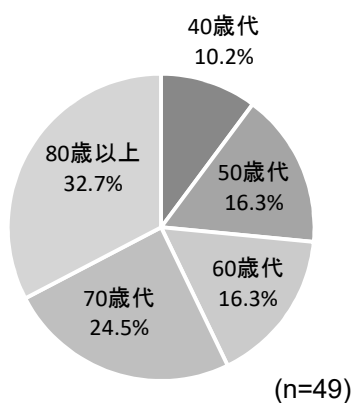
① 回答者の属性

回答者の属性は下図の通りです。

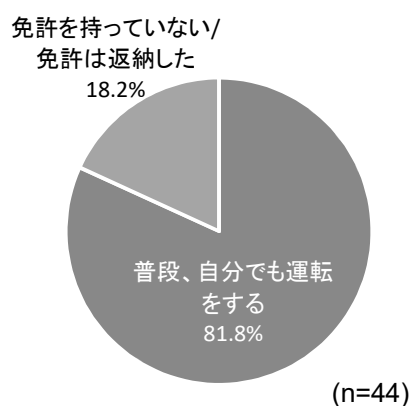
図表 22 性別



図表 23 年代



図表 24 運転免許・運転機会の有無



すべての年代で「普段、自分でも運転をする」がもっとも多くなっています。「免許を持っていない/免許は返納した」は80歳以上の回答者の一部となっています。

図表 25 年代別運転免許・運転機会の有無

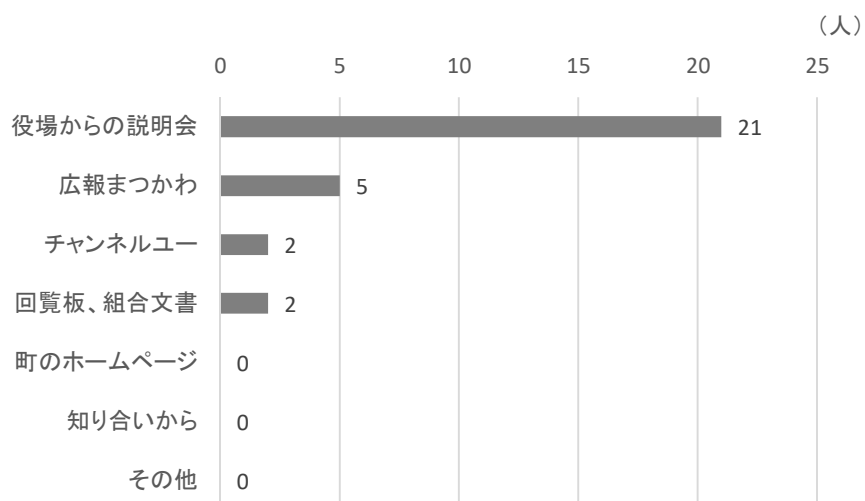
(単位:人)

	普段、自分でも運転をする	免許はあるが運転はしない	免許を持っていない/免許は返納した
40歳代	5	0	0
50歳代	8	0	0
60歳代	8	0	0
70歳代	11	0	0
80歳以上	4	0	8
合計	36	0	8

② デマンドタクシーを知った機会

デマンドタクシーを知ったのは「役場からの説明会」がもっとも多くなっています。次いで、「広報まつかわ」、「チャンネルユー」「回覧板、組合文書」が続きます。

図表 26 デマンドタクシーを知った機会（複数回答）

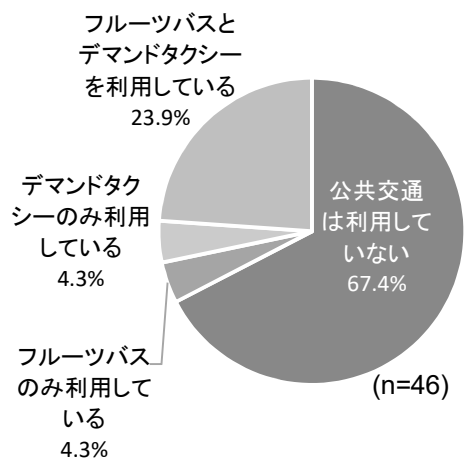


③ 公共交通の利用状況

「公共交通を利用していない」が67.4%で、もっとも多くなっています。

年代別にみると、公共交通を利用しているのは60歳以上の回答者です。80歳以上で公共交通利用者数が非利用者を上回っています。

図表 27 公共交通の利用状況



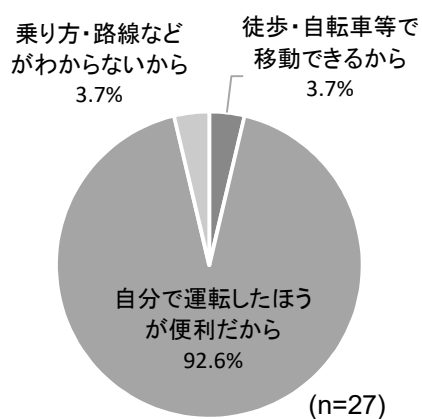
図表 28 年代別公共交通の利用状況

(単位: 人)

	公共交通は利用していない	フルーツバスのみ利用している	デマンドタクシーのみ利用している	フルーツバスとデマンドタクシーを利用している
40歳代	5	0	0	0
50歳代	8	0	0	0
60歳代	7	1	0	0
70歳代	8	0	1	1
80歳以上	3	1	1	10
合計	31	2	2	11

公共交通を利用していない理由は「自分で運転したほうが便利だから」が92.6%で圧倒的に多くなっています。

図表 29 公共交通を利用しない理由

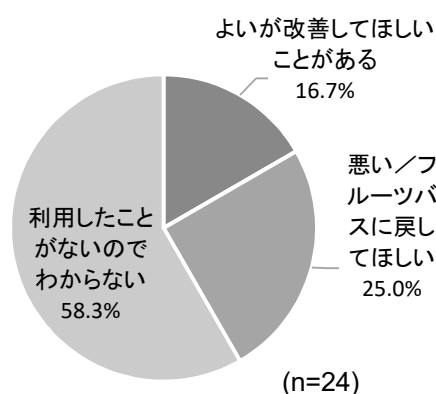


④ デマンドタクシーに対する意見

デマンドタクシーに対する評価では「利用したことがないのでわからない」が 58.3% でもっとも多くなっています。

デマンドタクシー利用者では「悪い/フルーツバスに戻してほしい」が半数を超えています。

図表 30 デマンドタクシーに対する評価



図表 31 公共交通の利用状況別デマンドタクシーに対する評価

(単位: 人)

	よい	よいが改善してほしいことがある	悪い/フルーツバスに戻してほしい	利用したことがないのでわからない
公共交通は利用していない	0	0	0	10
フルーツバスのみ利用している	0	0	0	2
デマンドタクシーのみ利用している	0	0	1	1
フルーツバスとデマンドタクシーを利用している	0	4	5	0
合計	0	4	6	13

改善してほしいこととしては利用者に対する調査と同様に「予約電話をするのがわずらわしい」がもっとも多くあげられています。

図表 32 改善してほしいこと (複数回答)

	度数(人)
予約電話をするのがわずらわしい	9
運行ダイヤが自分の行動に合わない	7
フルーツバスや JR との接続が悪い	0
運賃が高い	0
デマンドタクシー待ちの環境(バス停、待合所)が整備されていない	0
バスに関する情報不足	0
その他	1

4. まとめ

ここまでの集計、調査結果をまとめます。

(1) デマンドタクシーの利用者像

デマンドタクシーの利用者の多くは、免許を保有していない60歳以上の女性です。これは、おおむね当初の想定通りです。

(2) デマンドタクシーの運行改善

- ・ デマンドタクシーはフルーツバスよりも利用者が少なくなっています。
- ・ デマンドタクシーに対する評価では、2調査ともに「よいが改善してほしいことがある」が多くあげられています。また、「悪い/フルーツバスに戻してほしい」との回答も一部あります。
- ・ 改善をしてほしいこととしてあげられたのは、2調査ともに、「予約電話をするのがわずらわしい」「運行ダイヤが自分の行動に合わない」が多くなっています。
- ・ 「予約電話をするのがわずらわしい」については、デマンドタクシーの特性上、避けられません。現在の電話予約方式が、定着するまでしばらく時間がかかります。また、予約方式を変える場合は、設備の変更等も視野に入れなくてはなりません。
- ・ 「運行ダイヤが自分の行動に合わない」については、13:30前後の運行を希望する声が多くあげられています。
- ・ 清流苑からの乗車を希望する人もいます。

(3) 周知方法

デマンドタクシーを知ったのは、「説明会」がもっとも多くなっています。今後、大きな運行改善をする場合等、周知する方法としては説明会の開催が有用といえます。

(4) 公共交通の転換を促すのは80歳以上から

公共交通の利用しない理由は、「自分で運転したほうが便利だから」です。

公共交通の利用を増やすためには、自家用車から公共共通への転換を促すことが求められますが、70歳代まで「普段、自分でも運転する」人が多い状況で、転換を促すのは容易ではないと考えられます。